

看護大通信

67



うかの判断はできません。

誤飲の原因の第

1位はタバコ、第2

位は医薬品です。この2

品目だけで誤飲数の約5

割を占めており、順位は

少量の危険物でも、場合

20年間変わっていません。

によつては命の危険につ

なおります。

誤飲の発生が一番多い

年齢は、ハイハイやつか

まわり立ちを始める6か月

家の中に潜む危険「子どもの誤飲」

履いたままですが、

日本では玄関で靴を脱ぎ、

室内では畳や床の上に

座つて生活をします。生

活用品を低い場所に置い

てしまうため、それが子

どもの誤飲につながりや

すいのです。

誤飲による主な問題は、

窒息と中毒、消化管穿孔

れは安全な環境づくりで

す。子どもが誤飲する危

険性のあるモノを、子ど

もの手の届く範囲には置

かないことです。「1歳児

の身長+手の長さ」を考

え、1mより下には危険

なモノを置かないように

しましょう。危険なモノ

の見分け方として、ピン

ポン玉(直径39mm)と大き

さを比較する方法があり

ます。ピンポン玉と同じ

か、それより小さいもの

は全て、誤飲の危険があ

ります。大切な子どもの

命を守るために、家中を

子ども目線で点検するこ

とから始めませんか？



▼ハイハイを始めた9か月児